

ボーリング柱状図

調査名 一級河川 太田川水系 貞岡川2 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量設計等業務委託

ボーリングNo	4								
---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 一級河川 太田川水系 貞岡川2 砂防激甚災害対策特別緊急事業

シートNo 1

ボーリング名	BorNo. 4		調査位置	広島県東広島市志和町 別府 地内			北緯	34° 28' 34.21"				
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			調査期間	令和 3年 3月 15日 ~ 3年 3月 16日		東経	132° 37' 40.77"				
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	T.P. 287.23m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直	使用機種	試錐機	東邦 D1-B48型	ハンマー落下用具	半自動落下型
総掘進長	8.00m	度	0°	向		鉛直	水平	エンジン	ヤンマー NFD12型	ポンプ	東邦 BG-3C型	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験 (月日)	掘進
											深さ (m)	10cmごとの打撃回数	0	10				
1	286.23	1.00	1.00		玉石混り砂	褐			土石流堆積物。所々に径30mmまでの亜角礫を混入する。マサ状土砂よりなる。深度0.5mにφ=100mmの玉石が点在する。(ケーシングにより確認)	3/15	1.15	1/12	1/18	2/30	2			
2	284.98	1.25	2.25		粘土混り砂	暗褐			谷底堆積物。粘土分を含む、細粒~中粒主体の砂。	3/15	1.45	1	3	4	8/30	8		
3					礫混り砂	にぶい黄褐			崖錐堆積物。中粒主体の砂に粗粒砂を少量混入する。礫分は、径10~50mmまでの亜角~角礫を混入する。深度4.0mより風化礫の混入が見られる。	3/15	2.45	7	8	8	23/30	23		
4					礫混り砂	暗褐				3/15	3.45	4	4	9	17/30	17		
5	282.28	2.70	4.95		花崗岩・軟岩	褐			岩級区分のDH~CL級に相当する、風化花崗岩。コアは柱状で採取され、ハンマーの打撃によりマサ状に崩れる。深度5.4m以深より、コアは礫状を成す。岩構造は明瞭。	3/15	4.15	33	17/3	50/13	115			
6	281.18	1.10	6.05		花崗岩・軟岩	褐			岩級区分のCM級に相当する、風化花崗岩。40°方向に発達した節理により、コアはφ=100mmまでの短柱状で採取される。	3/15	5.25	貫入不能		50/0				3/15
7					花崗岩・軟岩	褐				3/15	6.00	貫入不能		50/0				
8	279.23	1.95	8.00		花崗岩・軟岩	褐				3/15	7.00	貫入不能		50/0				3/16
					花崗岩・軟岩	褐				3/15	8.00	貫入不能		50/0				